



1. 助成団体および助成総額

		2013	2014	2015	2016	2017
助成団体	団体	20	24	21	19	22
助成総額	千円	2,800	3,000	2,680	2,570	3,000
信託財産残高	千円	375,559	374,227	372,202	370,852	368,842

2. 2017年度の助成団体

■自然環境保護および啓発の実践活動部門・・・20団体(総額245万円) ★:2017年度にはじめて助成を受けた団体。

	団体名	活動内容／助成対象
1	須磨ふるさと生き物サポーター	神戸市須磨区旧市街地地域の在来生物保全と外来種駆除、須磨多間線高架道路建設予定地に生息するマツムシ保全。 *標本製作、飼育・採集、森林整備用具に活用。
2	宝塚エコネット	宝塚市にある松尾湿原の再生・保全のための間伐・草刈・落ち葉かきを行う。植生・トンボ生息調査や親子保全活動体験の実施。 *講師謝金、パンフ印刷費等に使用。
3	六甲山を活用する会	六甲山の里山再生モデル地域の啓発拠点「まちっ子の森」整備、アセビ伐採による森林再生状況を調査し、効果を検証。 *調査関連用具、講師謝金、教材作成に活用。
4	神戸生物クラブ	幼少期から自然に親しみ、生物多様性への関心がもてるよう、野外活動をしながら動植物の観察方法や標本づくりなどの学習活動を展開。 *ガイドブック、チラシ作成に活用。
5	よこおみち森もりの会	神戸市須磨区横尾地区・・・野路菊育成、低木植栽、雑木林・竹ヤブ整備、友が丘地区・・・竹林道保全、「つつじの森づくり」に向けた植栽。 *整備用具、土の購入などに使用。
6	身近な自然とまちを考える会	川西市黒川地区の休耕田に環境学習のための「トンボ池」を整備。市内小学校の里山体験学習支援を行う。 *オオムラサキ飼育用具・資材、観察・調査備品に活用。
7	多紀連山のクリンソウを守る会	多紀連山に自生するクリンソウ群生地保護のため、自生地のつたや障害樹木の伐採、ならびに生育状況の定点観察を実施。 *遊歩道の整備資材、講師謝金、参考図書購入等に使用。
8	田君川バイカモ保存会	田君川(新温泉町)に群生するバイカモ(梅花藻)の保全に向け、気象被害時の移植、外来種の除草、小学校の自然体験学習受入れを行う。 *除草用資材に使用。
9	兵庫ウスイロヒョウモンモドキを守る会	数少ない生息地である八幡高原で、幼虫の食草であるオミナエシの植栽、幼虫の飼育・放蝶及び生息地の草刈り、シカ害対策を行う。 *シカ柵・飼育ゲージ資材、種・苗代に使用。
10	鴨庄オオムラサキ飼育の会	丹波市鴨庄川流域で、耕作放棄田を活用した自然繁殖地「オオムラサキの森」を造成。食草を同じくする他の蝶の自然繁殖もめざす。 *食草苗、森造成資材に活用。
11	兵庫丹波オオムラサキの会	オオムラサキ舞う里山に向け、生息調査継続によるマップの精度向上、学校の環境学習支援、関係団体の連携づくりをすすめる。 *飼育ゲージ、標本作成等に使用。
12	淡路東浦ため池・里海交流保全協議会	漁業資源を豊かにするため、ため池管理者と漁業者が連携したかいぼり(池の清掃)を行うとともに、小学生の環境学習フィールドに。 *かいぼり用具、鯉の稚魚購入費に充当。
13	NPO法人たつの・赤トンボを増やそう会	童謡「赤とんぼ」に歌われるアキアカネの人工飼育、田んぼでの羽化実験、アキアカネ&水生生物調査会、アキアカネ山上調査を行う。 *講師謝金、調査費等に使用。
14	丹波地域のホトケドジョウを守る会	ホトケドジョウ保全を目的にモニタリング調査、堆積土砂除去など生息地の環境整備、及び近隣の生息地を探索。 *検査試薬、生息地補修備品、図書購入に利用。
15	武庫川流域圏ネットワーク	安全・安心で魅力ある武庫川づくりをめざし、河川清掃活動&学習、外来植物駆除、流域で活動する他団体との交流を行う。 *河川清掃用具、講師謝金、パンフ類印刷等に活用。
16	★丹戸区	スキー場造成時の外来種による緑化で減少しているオミナエシ、コオニユリ等の在来種を植栽し、ウスイロヒョウモンモドキの生息地を保全。 *花苗の購入に使用。
17	★特定非営利活動法人棚田LOVER'S	環境モニタリング調査をもとにピオトープをつくり、これにより棚田の機能、自然環境保全の意義を体験的に学ぶ場を提供し、人づくり。 *講師謝金、チラシ印刷費の一部に充当。

	団体名	活動内容／助成対象
18	ブルーアンドグリーンネットワーク	神戸・明石海岸の海浜植物、貝類等の生息調査、及び海岸の生きもの観察会を通じ、自然環境や生物多様性を考える学習を展開。 *マップ作成、調査関係資材等に活用。
19	東お多福山草原保全・再生研究会	六甲山系のススキ草原の再生・維持管理のための地上植物刈取り、その効果検証、生物多様性ガイド養成講座の実施。 *整備用具消耗品・燃料等の一部に充当。
20	★林田にタガメの里をつくる会	タガメとゲンゴロウの繁殖が確認されている佐用町の放棄田で、生息状況調査及び草刈り、外来種駆除による保全活動を実施。 *除草用具・消耗品、調査用備品を購入。

■自然環境保全に向けた実証的調査・研究部門・・・2団体(総額55万円) ★:2017年度にはじめて助成を受けた団体

	団体名	活動内容／助成対象
1	★兵庫県立姫路飾西高等学校自然科学部	環境省レッドリスト絶滅危惧Ⅱ類指定の水生昆虫「トゲナベブタムシ」は未解明の部分が多く、産卵場所、生活環境、捕食・被食される生き物等の調査を行う。 *調査用具(水中カメラ、溶存酸素計等)、講師謝金、参考図書購入などに活用。
2	★兵庫県立北条高等学校	あびき湿原(加西市)は県内有数の面積をもつ湧水湿原で、約30種類の絶滅危惧種や希少動植物の生息が見込まれている。保全活動の効果を科学的視点から明らかにするとともに、動植物の生息状況を調査し、マップを作成。 *調査用備品(水分計、pHメーター、デジタル温度計等)、講師謝金、図鑑等参考書籍代として活用。